

# I 学校自己評価表 平成27年度

学校法人トリストラム学園  
プー ル 幼 稚 園

## 1. 本園の教育目標

ー今の時を 豊かに生きるー  
“子ども時代を子どもらしくたっぷりと生きる”

### 保育指針

1. 遊びを中心とした園生活
2. 年齢に相応しい経験や活動
3. 出会いを大切に～人と出会い 自然と出会い 神様と出会う～
4. 子ども達の力を信じて待つ
5. 一人ひとりと丁寧に向き合う

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

目 標 「ダイナミックに動こう」

### 目標の設定理由

創立50周年目を迎え、変えてはならない大切な理念は守りながら10年一日のごとく過ごすのではなく、今の子ども達伝えたいことや大切にしたい活動を見直した結果、「ダイナミックに動こう」を合言葉に、行事の見直しや活動内容について職員が互いに討議を重ねた結果、子ども達の日々の生活を5つの時間に分けて活動していく事となった。  
～子ども達に出来ることは子ども達の手で～をモットーに具体的な活動を通して子どもたちの経験値を上げることも一つの目的とした。

### 5つの時間

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 森の時間  | 子ども達がより自然と関わって遊ぶ時間：月に一度実施  |
| 2. 庭の時間  | 園庭の遊び・植物や野菜の栽培   |
| 3. 食の時間  | 野菜を収穫した後はみんなでお料理をしてみんなで食卓を囲む   |
| 4. 祈りの時  | 「命の糧」とは①食べること ②みことばに生きること  |
| 5. 出会いの時 | 「愛と文化を伝える園」として生の音楽に触れること、絵本に親しむ機会をたくさん持つこと、その他多様な文化や良い大人の方達・色々な個性をもつ友達と出会う機会を大切にしたい。 |

### 目標の計画

目標に対する職員の意識を深め共通理解をする為、5つの時間に基づいた講演会やワークショップ、園内研修を実施。子育て支援の一貫としても「文化を伝える園」として地域の方達にも広く参加を呼びかけ共に学ぶ機会をもった。

平成27年度に実施した講演会やワークショップ、職員研修は下記の通りである。

1. 森の時間 ～自然と関わって遊ぶ豊かさ～

クラス毎に月に一度自然の中へ出かける（季節の推移が分かりやすい為フィールドは同じ所）

\* 講演会（午前）

スライドショー「子どもであるという自然」

講師：小西 貴士氏（清里キープ協会所属）

\* 職員研修（午後）

スライドショーを観た後、清里 ヨハネ保育園の「森のようちえん」の活動の取り組みを討議

2. 庭の時間～園庭の遊び・植物、野菜の栽培～

\* 子ども達が育てたもの：じゃがいも・なすび・ピーマン・おくら・枝豆・トマト・レタス・きゅうり・かぼちゃ・お米・ハーブなど。

\* 園庭の樹木の実：金柑・ぎんなん・ザクロ・梅

\* 園庭での自由な遊び

3. 食の時間～お料理をすること・食卓を囲むこと～

野菜の収穫の後は収穫物を使ってお料理をすること、お誕生日会の食事はみんなで分担して作ること、時々のおやつ作りなどを実施。

お誕生日会ではバイキング形式に食事を楽しんだ。

\* 講演会（午前）

テーマ「命と生き方を守る子育て」

講師 坂本 廣子氏 相愛大学客員教授・サカモトキッチンスタジオ主宰

\* ワークショップ及び研修

テーマ「母と子の防災教室」

講師 坂本 廣子氏 防災教育スペシャリスト

4. 祈りの時

毎日の礼拝と共にクリスマス礼拝・子ども祝福式・収穫感謝祭・50周年記念感謝礼拝（プール学院礼拝堂 清心館に於いて）

5. 出会いの時～実施したコンサート～

50周年記念コンサート

\* おおたか静流さん「おおきな ぶどうの 木のしたで」

出演者：おおたか静流（歌）・山本亜美（17絃箏）沢田穰治（コントラバス）

その他のコンサート

\* オルゴールコンサート 中西 明氏

\* ピアノ・声楽・クラリネットのトリオ 出演者：ピクルス

\* 声 楽 出演者：脇田 茂子氏

\* 吹奏楽・ハンドベル・パイプオルガン・弦楽アンサンブル

演奏者：プール学院生・教員

### 3. 評価項目と取組状況

#### 取組状況

1. 「子ども達に出来ることは 子ども達の手で」という願いを持ち、安全である事を念頭に置きつつ、完璧さを求めず大らかに活動した。
2. 職員だけではなく、計画の段階から子ども達と相談する機会も多く持った。
3. 5つの時間がスムーズに実施できるように職員間で役割分担を明確にした事により計画がスムーズに運び、責任を持って役割を分かち合えた。
4. 一つ一つの活動が終わるごとに振り返りの時間を持ち、今後の活動を考える手だてとした。
5. 職員間で意識を深めていくことにより、子どもたちだけではなく、職員も活動に楽しさが増していった。

#### 評価項目

「森の時間」：フィールドでの体験

月に一度の森の時間のフィールドは同じ場所（大泉緑地）で実施。

フィールドを同じ場所にする事によって、子どもたち自身が遊びの計画を立てやすくなり、行くたびに楽しさが増し、森での子ども達の表情は生き生きと輝きを増した。

木の葉っぱ、小枝、木の実などは子ども達の遊びの素材。川や小高い山はスリルのある遊びの場となり、いつもとは違った遊びを作り出す喜びや充足感、自然の中で過ごす心地よさを子供達は感じとったようであった。

自然の中で焼いた「焼きマシュマロ」、おやつに持って行ったおむすびも森での定番の楽しみの一つとなった。

：研 修

小西貴士氏による講演会後の研修は職員の「自然」に対する興味を深め、自然を通しての互いの保育観も討議され、豊かな学びの時となった。

「庭の時間」：園庭の遊び

大きな樹木に囲まれた広い園庭はプール幼稚園の宝物。

恵まれた環境の中で、自ら遊びを見つけてタッピーゆっくり遊べる時間かけがえのない時間。

園庭での遊びを通して子どもたちはその後の人生で大切な事柄の多くを学んでいるように思っている。

：植物・野菜の栽培

土作りから始め、苗を植え、水やりをし、野菜の花に気付き実がなると収穫。バケツ田植えの稲が実ると刈入れをし、脱穀、粃摺り、その後の精米は農家の方をお願いをする。

収穫の後のどんなお料理にするかの相談も楽しい時間となった。

「食の時間」：お料理をして食べること

収穫できた野菜は余すところなくみんなで調理。洗って切って炒めたり煮たり……。調理器具の使用も子どもたちにとっては食材の感触の違いを確かめながらわくわくする楽しい経験となった。

調理をする経験は食に対する興味が育ち、子ども達に自信が育ってきたように感じられる。

家庭でも食事の用意や後片付け、包丁を使うなど園生活の経験が生かされている様である。

：研 修

サカモトキッチンスタジオ主宰の坂本廣子先生は食育の専門家。

子供達に長年、クッキングを教えておられる方。お料理を通して育つ心、食を食べることと子育ては連動していること、真面目なお母さん程、子どもは食べる興味が失っていることなど、スライドを通して分かりやすくお話してさった。改めて確認できたことがたくさんあった研修であった。

併せて「防災」に関するワークショップもして頂いた。

「祈りの時」

毎日の礼拝を通して自分のことだけでなく他者の為に祈る事、感謝をすること、神様の見守りの中にある喜びや安心感など自然な形で感じ取っている。

お祈りやお祈りの後で必ず読んで貰う絵本やお話は無形の形で心を育て想像力を培っている。

プール学院で行われた創立50周年の感謝礼拝は礼拝堂の雰囲気と共にプール幼稚園が大切にしたいことを周りの方に直接、感じ取って貰える機会となった。

「出会いの時」：色々なコンサート

願っても叶わないと思っていたおおか静流さんのコンサートを開催突拍子もない質問も大らかに受け止め、ユーモアをもって返される静流さんの世界に、会場に集まった方達はみんな魅了された。

17絃箏の山本亜美さん、コントラバスの沢田穰治さん、ピクルスのみなさん、オルゴールの中島明さん、声楽の脇田茂子さんなど、演奏のみではなく、子どもたちは良い大人の方達との豊かな出会いの時となった。

## 自己評価

「ダイナミックに動こう」「子ども達に出来ることは子ども達の手で」を常に念頭に置きながら活動を進めていったが、テーマに沿った研修や講演会、ワークショップ等、職員も具体的に学ぶことによって理解や意欲が深まったようである。

又、活動の後の振り返りで子どもたちが職員の想像以上に喜びをもって活動できた事を目の当たりにして、今後の保育の中で子どもたちに伝えていきたいことのイメージが広がったことは良かった。

研修や講演会、ワークショップ、コンサートなどの終了後の話し合いの折に講師の先生方や演奏者の方達から園に対して温かいエールを送って下さり、その事は貴重な外部評価にも繋がった。

保護者の方達も5つの活動は賛同され、協力して頂けたことは幸いである。

#### 4. 今後の課題～次年度に向けて

子供達にとっての“豊かさ”について、改めて考えさせられる一年であった。

5つの時間の活動は園生活のみならず、子ども達の家庭での過ごし方にも少なからず影響を与えたようである。

今後は、5つの時間をより充実させながら子ども達の成長を育みたい。

文科省の次のテーマである「アクティブラーニング」にも繋がる内容であると思っている。

#### 5. 情報公開

1. ホームページ
2. 園の掲示板
3. 区の情報紙

#### 6. 総合的な結果・評価

創立50周年という記念の年度にあたり、教職員だけではなく理事・評議員・監事・補助教員も一体となって今後の園の在り方や子供たちの教育について、真摯に語り合えたことは大きな収穫であり、子どもたちの今後により良い道筋が出来たようである。

保護者の方達も園の活動を理解し、子どもたちを中心に歩むことや幼児教育の重要性などが深まったように感じられる。

経費は掛かったが「愛と文化を伝える園」として、色々な講演会や研修、ワークショップ、コンサートの開催、それらの行事に参加した方達からは一定の評価を得られたことは喜びであり、職員の自信にもつながった。

今年度の経験を生かし、地域の子育て支援に今後も一層、努力したいと思っている。

#### 外部評価

##### 1. 第三者評価

- \* プール幼稚園の子どもたちは笑顔が多く、子どもらしく素直である
- \* 当園の良さをもっとみんなに知って貰いたい
- \* 良い活動をしている
- \* 保護者と園が風通しのいい関係である
- \* 特別支援の子どもたちも共に過ごしているのが良い

##### 2. 学校関係者評価

- \* 園庭の広さや保育室など、良い環境が用意されている
- \* 一人ひとりが大切にされているのが感じられる
- \* 幼稚園の形は変わっても理念は変えない事を希望する
- \* 営利が目的ではないが経営は厳しい
- \* 園児数は増える見込みはあるのか
- \* 小規模でプール幼稚園らしく歩んで行ければ良いではないか

## II. 事業報告

### 1. 法人の概要

名称	学校法人トリストラム学園
代表者	理事長 大坪 栄子
住所	大阪市東住吉区矢田3丁目2番18号
電話	06-6698-7700
FAX	06-6698-7290
役員	理事 6名 評議員 13名 監事 2名
役員会	年2回
評議員	13名
評議員会	年2回
	*両議会とも、時に応じて上記以外にも開催
監事	2名
園児数	5月1日 現在 3歳児 15名 4歳児 17名 5歳児24名
職員数	教職員 教諭 4名 補助教諭 4名 職員1名 園長 1名

### 年間行事

4月	入園式・始園式
5月	親子遠足・自由参観日
6月	日曜参観・講演会及び研修 講師 小西貴士 氏
7月	終業式・お泊まり保育・夏期保育
8月	夏期保育
9月	始業式・敬老の日「お楽しみ会」 講演会・研修・ワークショップ 講師 坂本廣子 氏
10月	運動会・園外保育・さつまいも掘り
11月	収穫感謝祭・子ども祝福式・大ホームカミングデイ おおたか静流コンサート 出演者：おおたか静流・山本亜美・沢田 穰治
12月	クリスマス礼拝と祝会・卒園生のクリスマス会・終業式
1月	始業式・田辺大根掘り
2月	お別れ遠足
3月	お別れ会・卒園生「お楽しみ会」・卒園記念感謝礼拝・卒園式・終業式

\*その他：お誕生日会・母と子のコンサート・森の時間・食の時間・避難訓練等

### 2. 職員・理事の異動

職員 1名退職 1名採用  
理事の異動は無し

### 3. 補助金：経常費補助金・大阪府及び大阪市特別支援教育補助金・就園奨励費

4. 子ども子育て新制度：平成29年度から移行予定

5. 子育て支援

- \*未就園児「にこにこらんど」
- \*講演会（お母さん講座）
- \*未収園児園庭開放「つぼみ組」  
園庭開放後 「遊びの場の提供」
- \*ホームクラス（預り保育）：長期休暇中も有り
- \*教育相談

6. メンテナンスに関して（50周年記念事業）

- \*保育室の及びプレイルームの床、手洗いの床のメンテナンス（洗浄とワックス掛け）
- \*和式の便器を洋便器に取り換え
- \*お手洗の壁紙を貼りかえる
- \*人工芝の取り換え
- \*樹木の管理（年間を通して）

7. 財務に関して

- \*人件費の支出や減価償却費などが財政を圧迫しているが、子どもたちの育ちを支えるための必要経費である。特別支援補助金は財政負担の軽減になっている
- \*創立50周年記念事業の経費として1千万円を特定預金から取崩した

### III 収支計算書

## 平成27年度 資金収支計算書

平成27年4月1日から

平成28年3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	9,637,600	9,635,760	1,840
寄付金収入	295,000	294,020	980
補助金収入	29,894,400	29,894,400	0
資産運用収入	420,000	503,477	△83,477
事業収入	4,711,900	4,833,485	△98,027
雑収入	1,294,370	1,358,239	△63,869
前受金収入	840,000	840,000	0
その他の収入	14,116,200	14,578,536	△462,336
資金収入調整勘定	△2,164,370	△2,164,370	0
前年度繰越支払資金	40,277,150	40,277,150	
収入の部合計	99,322,250	100,050,697	△728,447

(単位 円)

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	34,794,370	34,325,855	468,515
教育研究経費支出	13,316,880	12,675,343	641,537
管理経費支出	7,496,950	8,271,122	△774,172
設備関係支出	753,094	1,146,364	△393,270
資産運用支出	50,000	218,429	△168,429
その他の支出	4,556,200	4,566,200	△10,000
資金支出調整勘定	△4,566,200	△4,566,200	0
次年度繰越支払資金	38,699,126	39,191,754	△492,628
支出の部合計	99,322,250	100,050,697	△728,447



## 平成27年度 消費収支計算書

平成27年4月1日から

平成28年3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学校生徒等納付金	9,637,600	9,635,760	1,840
寄付金	295,000	299,020	△4,020
補助金	29,894,400	29,894,400	0
資産運用収入	420,000	504,477	△83,477
事業収入	4,711,900	4,833,485	△121,585
雑収入	1,294,370	1,358,239	△63,869
帰属収入合計	46,253,270	46,524,381	△271,111
基本金組入額合計	△753,094	0	△753,094
消費収入の部合計	45,500,176	46,524,381	△1,024,205

(単位 円)

消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	37,794,370	34,325,855	468,515
教育研究経費	18,616,880	17,982,237	634,643
管理経費	8,256,950	9,032,081	△775,131
資産処分差額	10,000	28,271	△18,271
消費支出の部合計	61,678,200	61,368,444	
当年度消費支出超過額	16,178,024	14,844,063	
前年度繰越消費収入超過額	7,396,841	7,396,841	
基本金取崩	0	108,284	
翌年度繰越消費収入超過額	8,781,183	7,338,938	

3. 貸借対照表

## 貸借対照表

平成28年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	256,733,795	270,968,954	△14,235,159
流動資産	40,336,124	45,341,350	△5,005,226
資産の部合計	297,069,919	316,310,304	△19,240,385

(単位 円)


負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
流動負債	1,501,538	5,897,860	△4,396,322
負債の部合計	1,501,538	5,897,860	△4,396,322
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	297,907,319	298,015,603	△108,284
第4号基本金	5,000,000	5,000,000	0
基本金の部合計	302,907,319	303,015,603	△108,284
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費収入超過額	△7,338,938	7,396,841	△14,735,779
消費収支差額の部合計	△7,338,938	7,396,841	△14,735,779
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	297,069,919	316,310,304	△19,240,385


## 4. 監査報告書

### 監 査 報 告 書

平成28年5月23日

学校法人 トリストラム学園  
理事長 大坪 栄子 殿

監事 内田 佐知子 

監事 井上 幸子 

#### 1. 監査の方法の概要

私どもは、私立学校法第37条第4項の規定に基づき、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度における法人の財産の状況及び理事の業務の執行状況を監査するため、理事会及び評議員会に出席するほか、理事及び担当職員より業務の報告を聴き、重要な決裁書類等を閲覧し、また、会計監査人と意見を交換し、計算書類につき検討を加えました。

#### 2. 監査の結果

- 業務報告は、法令及び寄付行為に従い、法人の運営状況を正しく表示しており指摘すべき事項は認められません。
- 財産目録は、法令及び寄付行為に従い、法人の財産状況を正しく表示しており指摘すべき事項は認められません。
- 理事の業務執行に関しては、法令及び寄付行為に違反する顕著な事実は認められず、適切かつ妥当と認めます。

以上

## 5. 財産目録

### 財産目録

(平成28年3月31日現在) ￥

(単位 円)

1. 資産総額		297,069,919
内 (1) 基本財産		142,122,521
(2) 運用財産		154,947,398
2. 負債総額		1,501,538
3. 正味財産		295,568,381